

英文科目名称：

授業の概要	人が人を思いやり、寄り添う人間関係が基本にあることによって、看護はその力を発揮する。つまり、患者の思いを大切に受け止めて理解し、その心に寄り添い、患者にどう向き合うか、そこに看護の出発点がある。この基本を踏まえて、本授業では看護におけるホスピタリティとは何か、ホスピタリティはなぜ必要なのかを考察する。看護や介護、病院といった狭い人間関係に限定せず、日常生活の様々な場面を想定して、社会人としてのマナーやホスピタリティ・マインドのポイントとその技法を学ぶ。					
到達目標	・看護におけるホスピタリティの必要性を理解出来る。 ・相手の気持ちを知り、向き合って関わるために、自分自身を知る。 ・相手の気持ちに寄り添うということが自分にとってどういう事であるか、言語化できる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	・オリエンテーション ・ホスピタリティとは	講義	【予習】 ①自己紹介 自身がなぜ看護職に就きたいと思ったかを相手に伝える内容を考えてくる ②ホスピタリティについて調べてくる		田中
	2	ポジティブコミュニケーション	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく		土居
	3	自分を知る 表現する アサーション①	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく		土居

	4	私の表現の仕方について知る アサーション②	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく		土居 田中
	5	他者と自分の違いを知る アサーション③	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく		土居
	6	医療におけるホスピタリティを考える ・日常の場面で受けたおもてなし事例、実践したおもてなし事例を紹介しあう	講義	【予習】 ・患者・家族は医療に何を求めるか ・病がもたらすもの 日常との相違 (事前にこれらを考えておく)		田中
	7	医療者、看護師になるということ (大切にしたいこと)	講義	看護者の倫理綱領を理解する		田中
	8	ホスピタリティを実践する	講義	配布資料を読み私を表現する 看護を学び、生きることを楽しむ		田中 土居
先行履修科目	なし					
テキスト	授業で資料を配布する。					
参考文献	平木典子：相手の気持ちをきちんと〈聞く〉技術 会話が続く、上手なコミュニケーションができる！，PHP，2013					
評価方法	レポート100% (課題レポート30% 最終レポート70%)					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	毎回の授業の中で、フィードバックします。					
備考	後期に、指定する地域での活動に参加し、ホスピタリティの実践を行っていただきます。授業の中でグループワークを行います。積極的に参加しましょう。					